

学校教育目標	中・長期的目標	総合評価(学校関係者のご意見)						
○自主性を養う。 ・自らより高い価値を創造しようとする力をつける。	挨拶の行き交う学校に 清掃に打ち込む学校に 学習に集中する学校に	歌声の響く学校に 時を守る学校に 読書に親しむ学校に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体が落ち着いた雰囲気である。生徒が穏やかに成長を続けている姿が見受けられる。</li> <li>・挨拶の姿がよい。清掃に一生懸命取り組んでいる。授業の中で、友だち同士で教え合う姿も見られる。合唱の歌声がとても良い。</li> <li>・困り感を抱えている生徒に寄り添い、生徒一人ひとりへの支援を充実させてほしい。</li> <li>・全ての生徒が、楽しく、安心して学校生活を送れるように、様々な取り組みを進めてほしい。</li> </ul>					
(願う生徒の姿)	令和5年度 学校重点目標		成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる生徒	①生徒の「主体的・対話的な学び」「個別最適な学び」を保障し、生徒が知識や技能を活用する力を育成する ②すべての生徒が個性を伸ばし、自分らしく生きることができる学年・学級づくりに努める ③学校運営委員会や学校評価を通して、保護者、地域と協働して学校運営を進める		日々の授業改善や学級活動の充実、ICT機器の導入により、生徒は主体的・対話的に学ぶ力を高めている。また、総合学習や各種行事への取り組みが、生徒の個性や主体性を伸ばすことに繋がっている。生徒会活動や部活動への取り組みも充実している。一方で、基礎学力の習得率や、生徒の学級・学年・学校への所属感に差が見られることが課題である。		○			より一層の授業力改善や、学級・学年活動、生徒会活動、部活動、学校行事の充実を目指す。具体的には、職員研修の充実、三中応援団と連携したJIGAKUやスイッチ等の活動の充実、生徒会活動と連携した生活態度、清掃の向上が考えられる。学校評価で実態を把握しながら、日々の日常的な学習や各種活動の質を高め、生徒一人ひとりの力を高めていく。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題(成果○ 課題◆)	A	B	C	D	改善策・向上策
学習指導	学習指導	学習課題の明確化	本校では、学習課題が明確に示され、全体的にわかりやすい授業が行われているか。	○先生方は努力されている。授業の分りやすさも向上している。 ◆先生によって取り組みに差がある。	○				・教員同士、授業を見合う機会を設け、お互いの姿からより良い学習指導について研究する。 ・授業に関する研修の場を設け、授業の技能を高める。
		家庭学習の定着	本校では、家庭学習やJIGAKU・スイッチなど、生徒が自主学習に取り組むための指導はできているか。	◆家庭学習による反復学習の不足を感じる。 ◆先生方のきめ細かな指導と支援が今後も重要。		○			・家庭学習の方針と内容を具体的に示し、取り組みを活性化させる。 ・朝の学習やJIGAKUと連携させ、学力向上につなげる。
		ICTを活用した授業づくり	本校では、生徒の話し合い活動やICT機器を生かした深い学びを実現できているか。	○ICT機器の利用そのものは定着してきている。 ◆ICTを使った授業の実施と学習内容の定着が、多くの先生方にとって課題である。	○				・ICT機器を授業でどのように使えるのかを、研修や実践交流の場を設けることで職員に周知し、授業での活用を広げて学力向上につなげる。
		進路学習	各学年の生徒の実態に応じて進路学習(1年:地域学習 2年:職場体験 3年:進路学習)を行っているが、生徒が将来の進路について考えることに役立っていると思うか。	○3学年の意識は高い。1・2学年の学習も進路を考える上で役立っている。 ◆地域で活躍する先輩の話や、進路を具体的にイメージしやすいのではないかと。	○				・これまでの進路学習の成果を踏まえ、さらに生徒が進路を具体的に見据え、明るい展望が持てるように内容をブラッシュアップする。
学校生活・生徒指導	学校生活・生徒指導	基本的生活習慣の確立	本校生徒は充実した(楽しい)学校生活を送っていると思うか。	○学校は楽しいという感想を持つ生徒が76%。第1回よりも増加している。 ◆12%以上の生徒が学校を楽しくないと感じている。個々の生徒への支援と学級集団形成の更なる充実が課題である。			○		・生徒が学校・学年・学級への所属感をもち、社会性を高められるような学級経営を心がける。合わせて、教育相談の充実や生徒指導・生徒支援をきめ細かく行う。
		気持ちのよい挨拶	本校生徒は、気持ちのよいあいさつや会釈ができていると思うか。	○「来校する度に気持ちのよいあいさつをもらえる」「校外でもあいさつする姿が見られる」との声がある。 ◆「校外だとあいさつができない」との声もある。		○			・まず、職員から明るい挨拶を心がける。 ・生徒会活動とも連動して、挨拶への意識を高める。 ・挨拶の成果をお便り等様々な手段を通して広める。
		清掃・環境整美への取り組み	本校の教室や校舎内は、きちんと清掃し、整理整頓されていると思うか。	○ロッカーの整理は概ねできている。清掃の身丈度はできている。 ◆ロッカーの整理整頓とトイレ掃除が今後の課題である。			○		・ロッカーの整理をはじめ、日々の清掃への取り組みを通して環境美化への意識を高める。トイレ掃除は、職員と生徒が協働して取り組み、美化に努める。
		安全で安心できる学校	学校生活は安心・安全(過ごしやすく・危険がない)な環境であると思うか。	○「学校は安心・安全」と答える生徒が8割を超えている。 ◆保健室やトイレに「入りにくい」と回答する生徒がいた。			○		・教育相談や毎月の生徒指導アンケートをもとに生徒の実態を把握する。その後、職員が指導を行うとともに、生徒会活動とも連動して、生活態度の向上に努める。
		思いやりの心	本校生徒は思いやりのある行動ができていると思うか。	○殆どの生徒が思いやりある行動ができている。 ◆他人との距離感の取り方が上手くない生徒がいる。			○		・友だちと関わり合う授業や、学級・学年のイベントを通して、友だちと関わる場面を増やし、関係の築き方を学ぶ。大星祭への取り組みを通して、友だちと協力することの良さを学ぶ機会とする。
		時間・服装などの決まりを守った生活	本校生徒は登下校時刻を守り、整った服装を心がけ、健康状態に気を配るなど、自身の学校生活を自己管理していると思うか。	◆服装は概ね良いが、服装の乱れている生徒がいる。 ◆外部の関係者・有識者の方々のご協力を得ながら、生徒の心身の健康面に今後も気を配る必要がある。			○		・職員が生徒に日常的に声をかける。合わせて、生徒会の生活委員会、代議員会の活動を通して、正しい服装も含めた生活態度の向上を図る。生徒の心身の健康に関する研修の場を設ける。
		生徒会活動	資源回収や当番活動などの生徒会活動は、自主的で有意義なものになっていると思うか。	○生徒会の各活動で活躍する生徒の姿をよく見る。 ◆生徒の自主性をさらに育めるような生徒会活動にしていこう。			○		・生徒が自主的・自発的に生徒会活動を企画・実施し、振り返りを通してより良い生徒会活動ができるように、適切な指導を積み重ねる。役員だけでなく全生徒の意識を高められるよう、生徒集金を年間を通して行っていく。
		部活動	【本校生徒が部活動に参加しているご家庭のみ】本校生徒にとって部活動は、自主的かつ充実したものになっていると思うか。	○学校の廊下に掲示された数々の賞状や大会結果の掲示から、部活動が充実していることがうかがえる。			○		・例年に続き、今年度も充実した部活動を行うことができた。今後、部活動の形は大きく変わっていくが、生徒の向上心や社会性を高められるような部活動運営をしていく。
学校運営	学校運営	学校開放日・体験入学等の実施	年3回の学校開放日や体験授業(新入生)等を通して、本校への理解や関心を高めてもらうことができたか。	○学校側の準備が有難い。学校の様子を知るいい機会となった。 ○掲示物や発表の内容がよく考えられている。 ◆多くの保護者の方々に、普段の生徒の姿を見てほしい。			○		・来年度も、学校開放や中学校説明会を通して、保護者や地域の方々に学校の様子を知っていただく機会とする。
		情報の発信	学校だよりや学年学級だより、ホームページ等を通して情報提供し本校の取組に関心を高めてもらうことができたか。	○町内の回覧で見る学校便りを楽しみにしている。 ◆地域の人が学校の様子を知るにはHPが学校だよりしかない。今年度のように今後も充実させてほしい。			○		・来年度は、学校便りやホームページの内容をより充実させ、学校の様子を積極的に発信していく。生徒の様子を把握・記録し、成果を広めていく。
		地域との連携推進	地域と連携し、学習活動や生徒支援を工夫することができたか。【「三中応援団」、学生ボランティアの活用】	○JIGAKUやスイッチで地域連携ができている。Coの西田さんに感謝している。 ◆生徒のため、先生方のための支援になっているが、検討を重ねて意義のある地域連携にしていきたい。			○		・JIGAKUやスイッチに加え、来年度は三中応援団の方々と新たな活動を企画している。学力に加え、様々なことで困り感を抱える生徒の力になる支援の形を模索していく。